



1 アーチで見送り(5月2日、松尾中) 2 平昌で掲げられた生徒手作りの横断幕と記念撮影(同) 3 小林潤志郎・陵侑選手からサイン色紙の贈呈(5月2日、柏台小)
4 笑顔で交流(同) 5 後ろの写真は小学生当時の…(5月11日、田山小) 6 拍手で見送り(同) 7 全校で記念撮影(5月10日、安代中) 8 市役所を表敬訪問し、目録を受贈(4月28日、市役所) 9 岩手山をバックに(同)

平昌オリンピック日本代表

NORDIC COMBINED

SKI JUMPING

SKI JUMPING

永井秀昭 × 小林潤志郎 × 小林陵侑

未来ある子どもたちへ 経験を伝え 種をまく
そして 自身も力と勇気を得て さらに高みへ 気持ち新たに

八幡平から北京へ

昌由 平経

INTERVIEW

— オリンピックと今シーズンを振り返っての感想を教えてください。
永井秀昭選手(以下「秀昭」) オリンピックまで調子が上がらず、苦しい時間を過ごしてきたが、周りの人の支えや皆さんの声援で今シーズンのベストリザルトを出すことができました。目標とするメダルを持ち帰ることができず、残念な気持ちはありますが、改めていろいろな人に支えられて、あの舞台に立てたことは誇りに思います。

小林潤志郎選手(以下「潤志郎」) 夏の国際大会(GP)で2勝を挙げてW杯で戦う準備ができていましたが、まさかW杯第1戦で優勝できるとは思っていませんでした。オリンピックではメダルを取れるかもしれないと言われて臨みます。

— 今後の課題と目標を教えてください。
秀昭 ● 競技人生を続けることを決めました。まだまだうまくなる要素が残っていると感じています。今シーズンは自分が思っていた以上にジャンプの調子が悪く、そこで慌ててしまったところがあったので、調子が悪い時でも、浮き沈みが抑えられるよう平均値の底上げを図ってきたいです。

潤志郎 ● 競技人生を続けることを決めました。まだまだうまくなる要素が残っていると感じています。今シーズンは自分が思っていた以上にジャンプの調子が悪く、そこで慌ててしまったところがあったので、調子が悪い時でも、浮き沈みが抑えられるよう平均値の底上げを図ってきたいです。

本市出身で平昌オリンピック日本代表としてジャンプに出場した小林潤志郎・陵侑選手と、ノルディック複合に出場した永井秀昭選手は4月28日、市役所を訪れ、大会の報告と応援への感謝の意を表しました。

田村正彦市長は「ヨーロッパの選手に立ち向かう姿に感動した。次の北京オリンピックを目指し、頑張ってもらいたい」と3選手の今後の活躍を祈念し、市からの報奨金50万円の目録を贈呈しました。

3選手はオリンピックやW杯の大会の様子や4年後に控える北京オリンピックへの抱負を語りました。

オリンピックの3選手はその後も、県スポーツ賞表彰式や母校の報告会へ参加し、支援への感謝を伝えました。

松尾中を訪問した小林潤志郎・陵侑選手は、手作りのアーチで盛大に迎えられ、ハイタッチや記念撮影に応じ交流しました。潤志郎選手は「スポーツでも勉強でも何か目標を持って励んでほしい」と生徒を激励。生徒会長の立柳萌依さんは「私たちも夢に向かって、ビッグジャンプしていきたい」と誓い、両選手の活躍をたたえました。



潤志郎 ● 来シーズンは規定が変わり、体重を増やさなければならぬので、自分の体をうまく使いこなせるようにトレーニングしていきたいです。今シーズンW杯ではTOP10を逃してしまったので、来シーズンはTOP10入りを達成できるように、表彰台に上る回数を増やしていきたいです。

陵侑 ● アプローチと空中姿勢を見直していきたいです。見直しがどう出るか分からないが、まずはW杯1勝を狙っていききたいです。

— 市民に向けて一言お願いします。
秀昭 ● 地元の温かい応援が力になりました。ありがとうございます。
潤志郎 ● パブリックビューイングで盛り上がったと聞いて感謝しています。



— 4年後の北京オリンピックに向けて、改めて抱負を教えてください。
秀昭 ● 1年1年が勝負。上を目指して毎年取り組み、4年後にオリンピックが見えるのであれば、挑戦したいと思っています。

潤志郎 ● 北京オリンピックではメダルを取りたいです。若手が育たなければ、日本が強くなるので、自分たち兄弟が若手の目標となるように頑張っていきたいです。

陵侑 ● 4年後にはメダルを持って帰ってこられるように、これからも頑張っていきますので、応援よろしくお願いします。

